

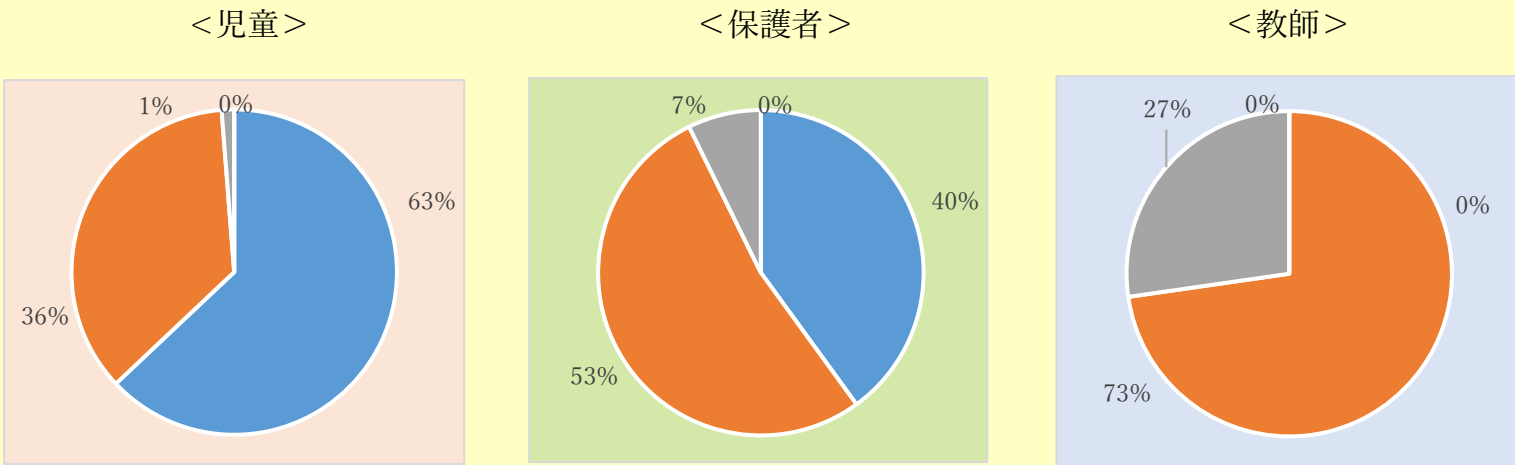
令和 7 年度 松蔭小学校評価アンケートの結果と考察（前期）

令和 7 年 7 月実施

よくあてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

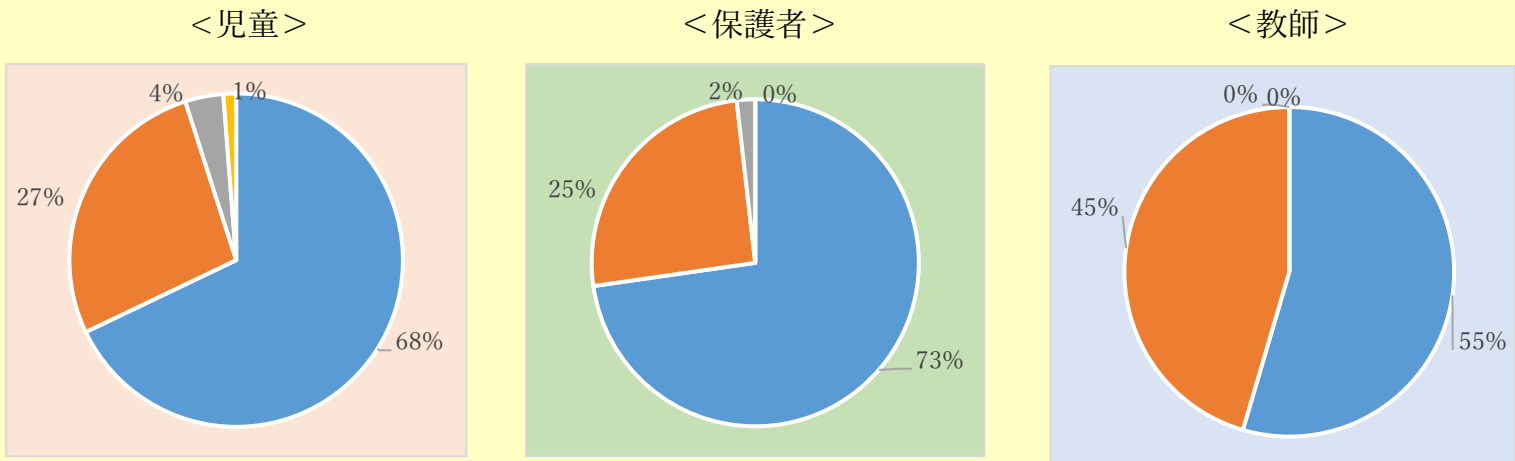
～校訓「あかるく」～ … 「自己有用感」に関する項目

◇ きちんと挨拶ができている。(児童・保護者・教師)



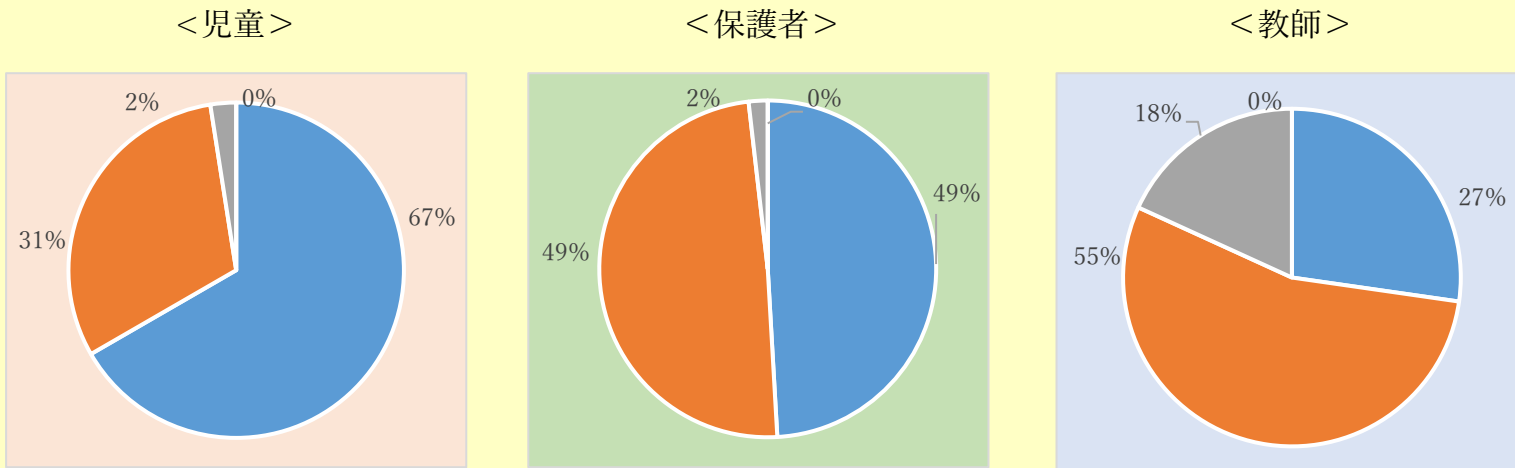
- ・「よくできている」と判断した割合について、児童とおとなの間で開きがある。
- ・児童は挨拶や返事ができていると捉えているが、周りは「もう少しがんばってほしい」、「もう少し指導が必要だ」と感じている。
- ・「よい挨拶」の姿について、児童と教師が共通認識を図る必要がある。

◇ 学校は楽しい・楽しく学校に通っている・児童は学校生活を楽しんでいる。(児童・保護者・教師)



- ・肯定的な意見は3者とも 95%を超えており、全体的に児童は学校生活を楽しんでいると判断できる。
- ・一方で、肯定的でない児童の割合が3者の中で一番多く、気付きや対応の在り方について再考が必要である。
- ・児童の中で、「まったくそう思わない」と感じている児童がおり、早期の相談や対応が必要である。

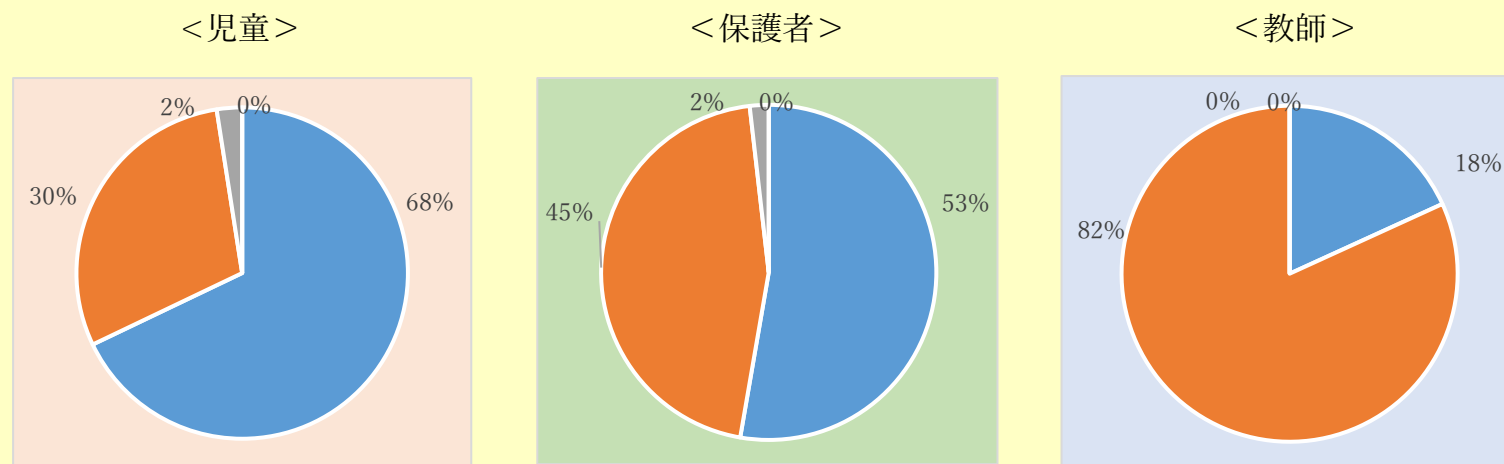
◇ きまりを守って生活している。(児童・保護者・教師)



- ・児童も保護者も、肯定的に捉えている意見が 98%と、高い肯定率となっている。
- ・一方で、肯定的でない教師の割合が約2割で、児童との認識に差があることが分かる。
- ・児童と教師が「きまり」について共通認識を得る機会を持つ必要がある。

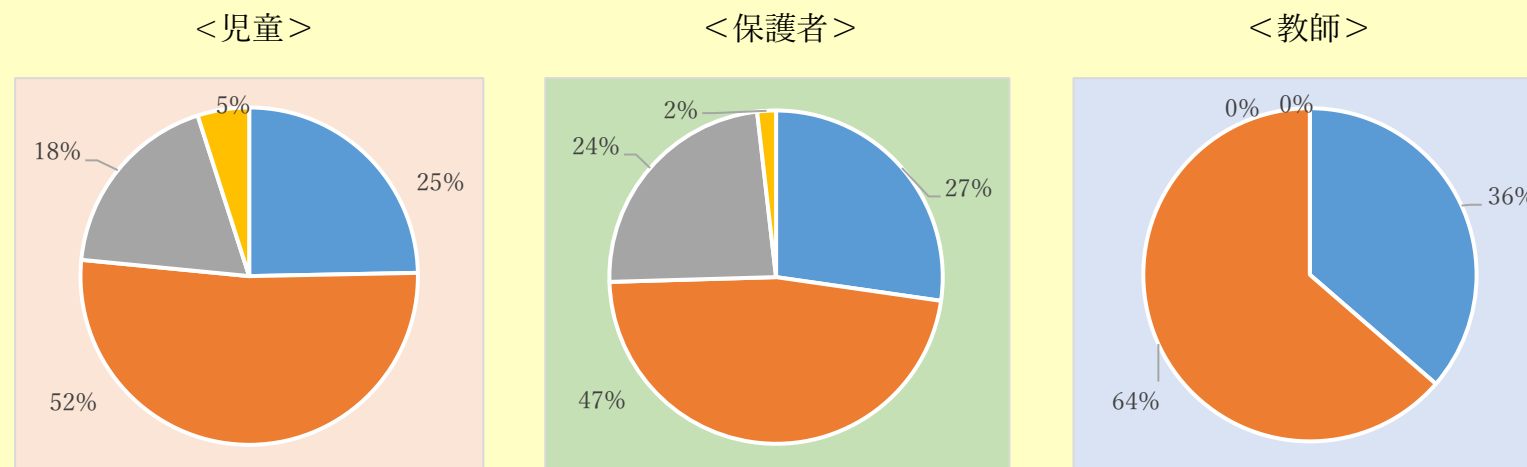
～校訓「やさしく」～ … コミュニケーション能力に関する項目

◇ 友達にやさしく、親切に接している。(児童・保護者) 思いやりを持ち、仲良く過ごしている。(教師)



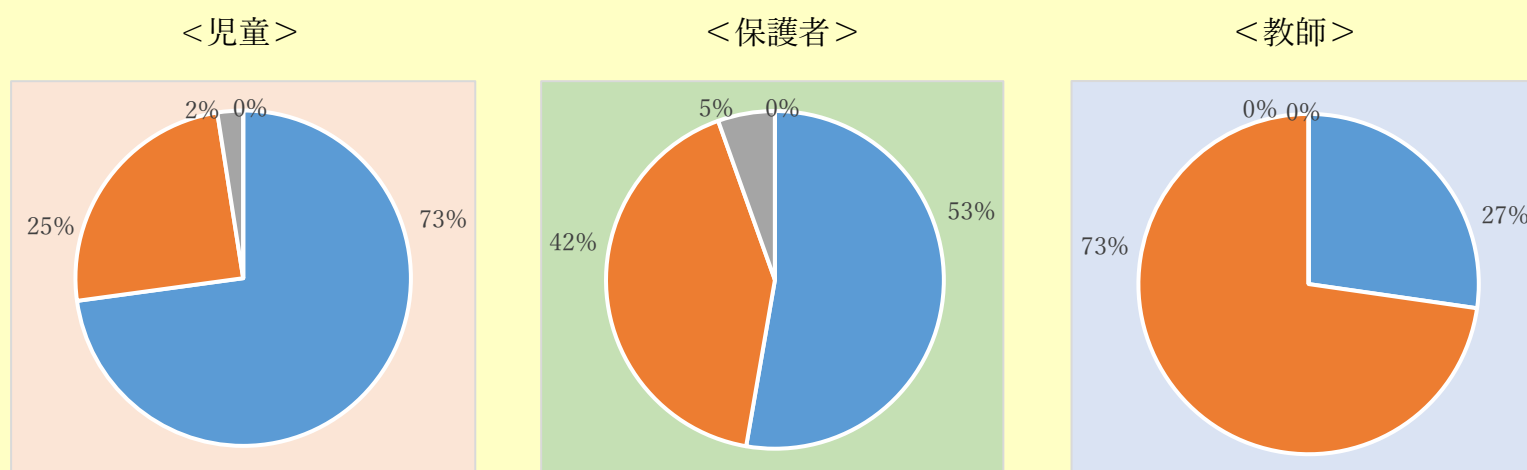
- ・ 3者とも肯定的な意見が98%を超えており、非常に満足度の高い項目と言える。
- ・ 教師の肯定的な意見が100%であり、日常生活の中で問題が起きても、それを解決していこうとしている姿勢が分かる。
- ・ 一方で、友達への接し方や交友関係に不安を感じている児童が一定数いることも念頭に置き、指導や見守りをする必要がある。

◇ 手伝いをよくしている・できている。(児童・保護者・教師)



- ・ 児童と保護者については、全体の質問項目の中で最も肯定率が低い。
- ・ 教師の肯定的な意見が100%であり、友人の手助けや係の仕事など、児童は学校生活の中で「手伝いができている」と捉えている。
- ・ 児童と保護者の「手伝い」についての認識が、ほぼ一致している。
- ・ 各家庭における児童の役割分担について、話し合う機会を持つなどの工夫をすると、お互いの満足度が高まりそうである。

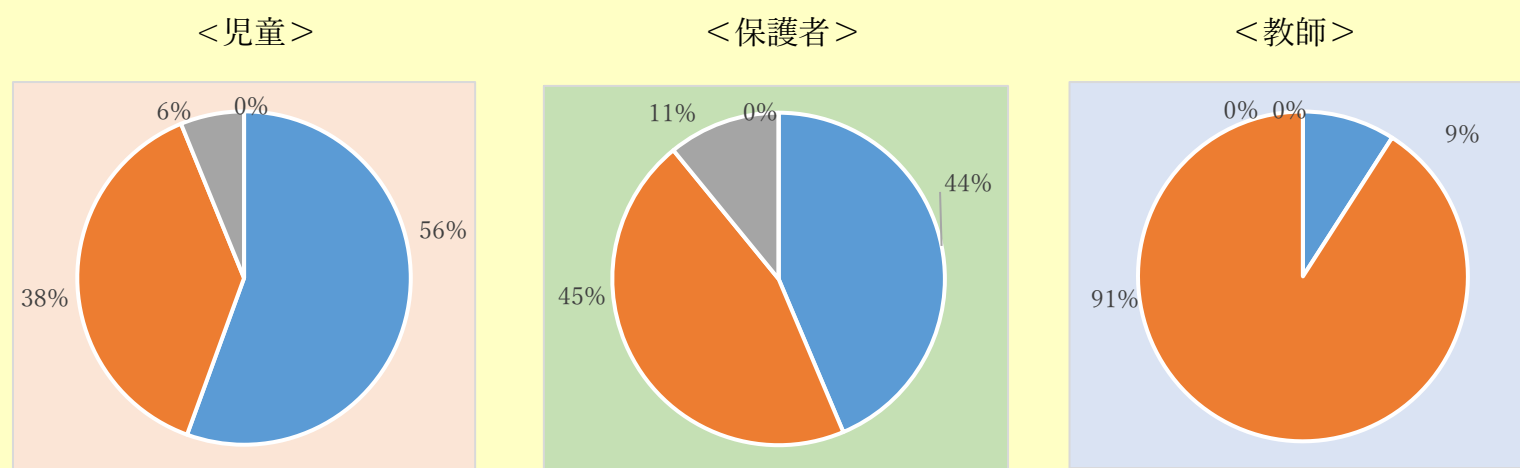
◇ よく話をし、コミュニケーションをとっている。(児童・保護者・教師)



- ・ 3者とも非常に高い肯定的な意見となっている。
- ・ ほとんどの児童が、家庭でよく会話ができていていると感じていることが分かる。
- ・ 教師は、児童とコミュニケーションを図ることの必要性を感じていることが分かる。
- ・ コミュニケーション不足を感じている児童や保護者も一定数おり、会話や機会の持ち方について再考の必要がある。

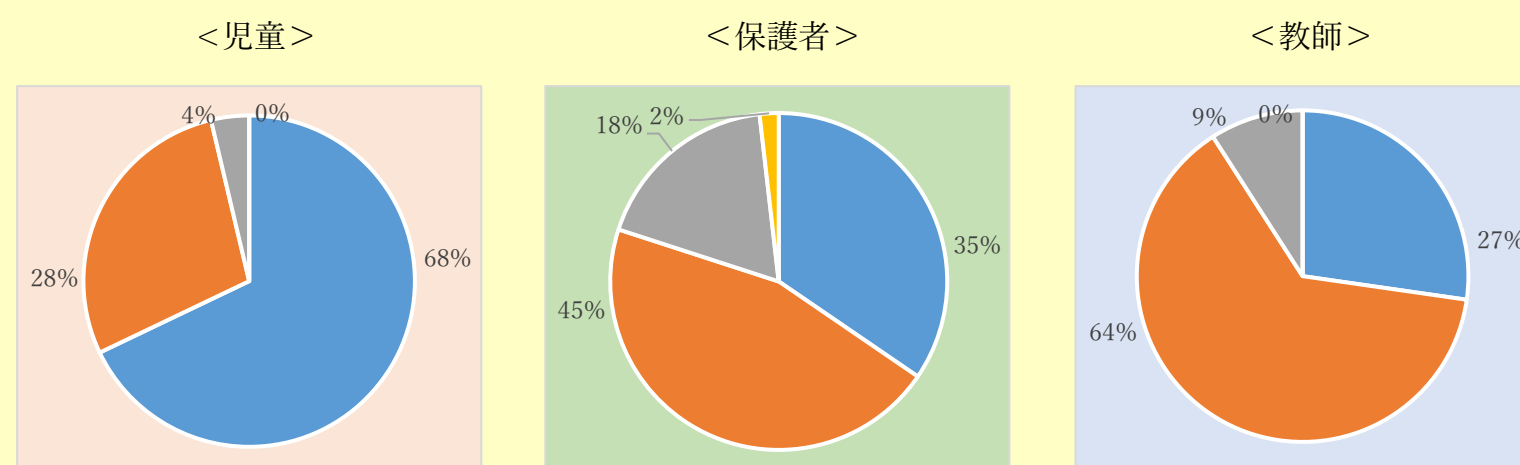
～校訓「たくましく」～ … 向上心・忍耐力に関する項目

◇ 基本的な生活習慣が身に付いている。＜早寝・早起き・朝ご飯＞（児童・保護者・教師）



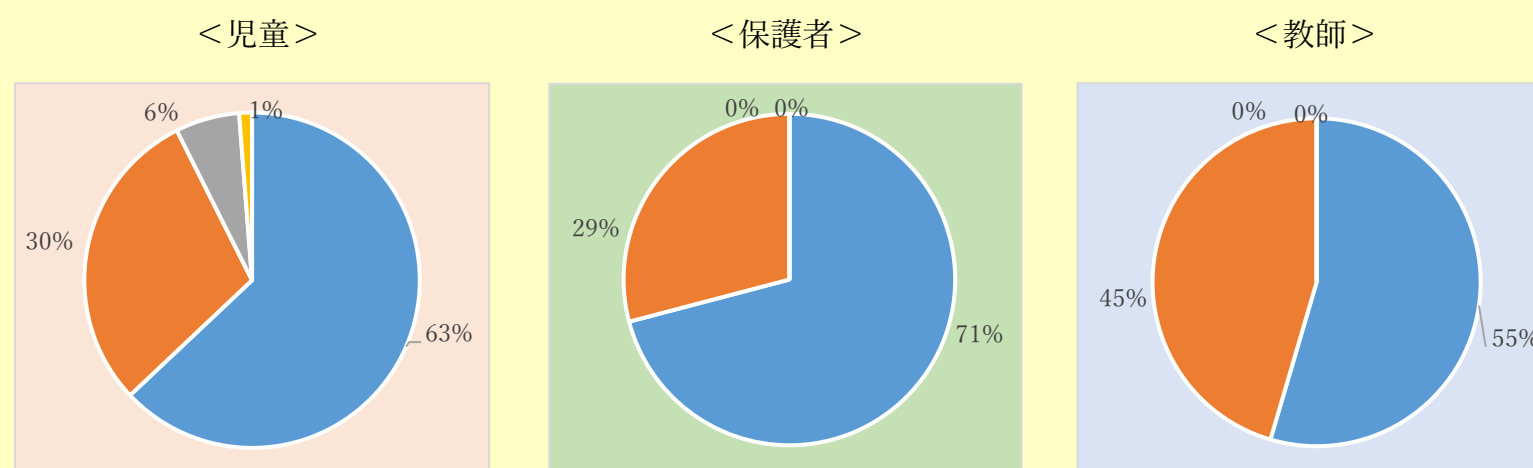
- ・ 教師は、肯定的な意見が 100%であり、基本的な生活習慣が身に付いていると感じているが、「よくできている」が 10%未満である。
- ・ 「あまりできていない」という認識は、保護者よりも児童の方が低い傾向にある。
- ・ 基本的な生活習慣が乱れがちな児童については、学校と家庭が協力して指導や支援をしていくよう努めていきたい。
- ・ （教師の否定的な意見は 0%なので）家庭における生活習慣についての困り感を、学校と家庭が共有できる方策について考えていきたい。

◇ 家庭学習の習慣が身に付いている。（児童・保護者・教師）



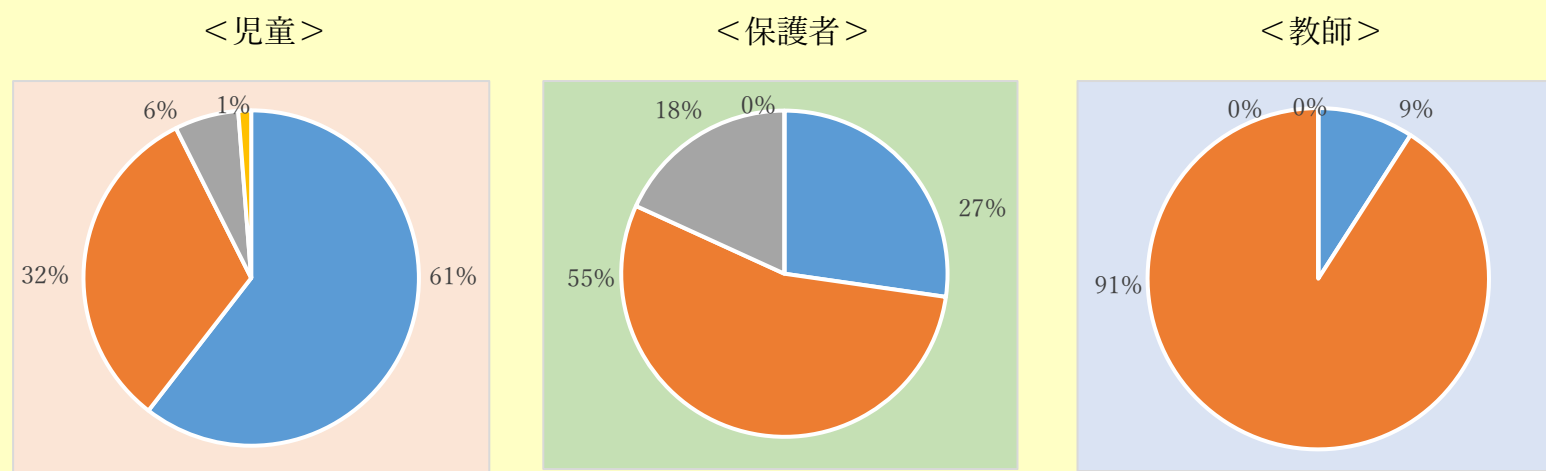
- ・ 保護者に、「まったくあてはまらない」という認識を持つ方が一定数いる。
- ・ 児童は、家庭学習をがんばっているという意識が伺える。（否定的な認識はほぼない）
- ・ 保護者と教師の「家庭学習への取り組み方」の認識については、ほぼ同じ傾向にある。
- ・ 具体例を提示したり、家庭内で話し合ったりして、よい家庭学習の取り組み方について共通認識を図る必要がある。

◇ 授業は分かりやすい。分かりやすい授業に努めている。（児童・保護者・教師）



- ・ 保護者は、概ね良好な結果となっており、満足感を感じていると思われる。
- ・ 教師も、分かりやすい授業を実践しようと意識・努力していることが分かる。
- ・ 否定的な割合が一番高いのが児童である。
- ・ 授業に不安を感じている児童が一定数いることを念頭に置き、個別最適な指導を続けていく必要がある。

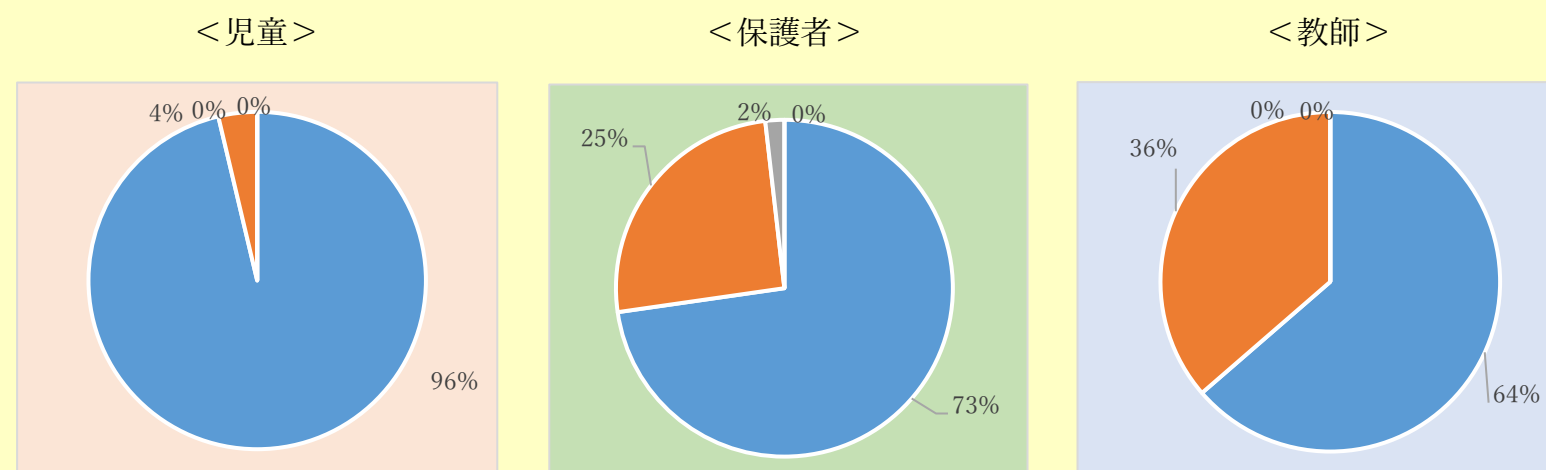
◇ めあてを決めて最後までがんばっている。(児童・教師)



- ・ 教師は、肯定的な意見が 100%であり、最後までがんばっていると認めているが、「よくあてはまる」が 10%未満と 3 者の中で一番低い。
- ・ 約 2 割の保護者が、もう少しがんばってほしいと感じていることが分かる。
- ・ めあて達成の具体例や姿を例示したり、課題点を話し合ったりして、認識を共有する必要がある。

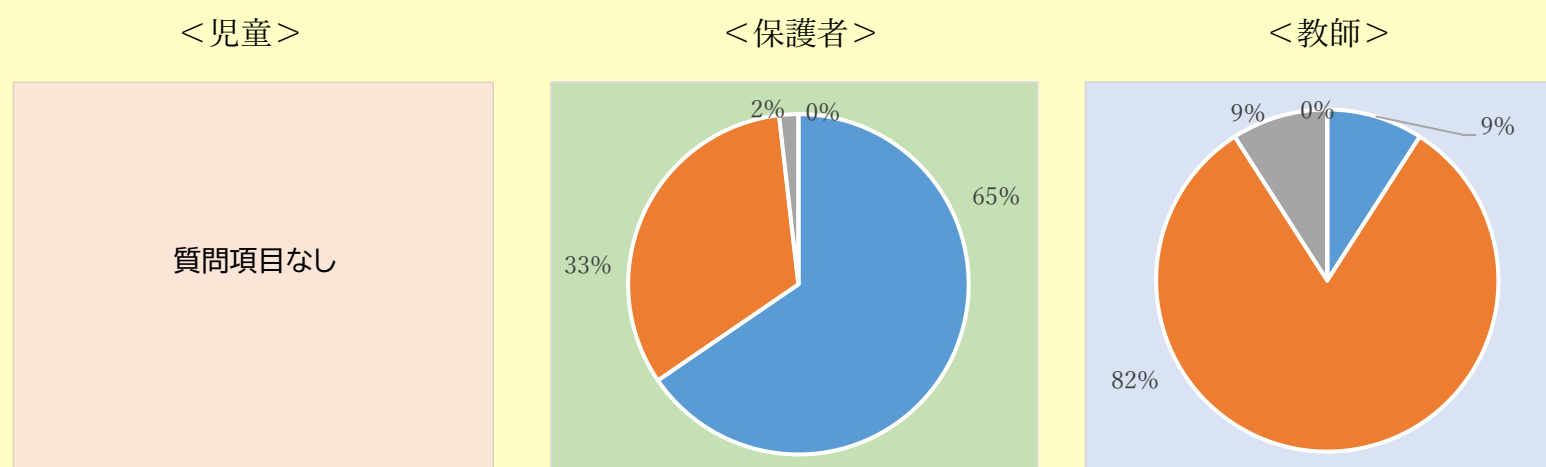
安全・安心な教育環境の整備 ～家庭の協力・地域の支援～

◇ 安全に気を付けて生活している。(児童) 学校は、安全確保のために努力している。(保護者・教師)



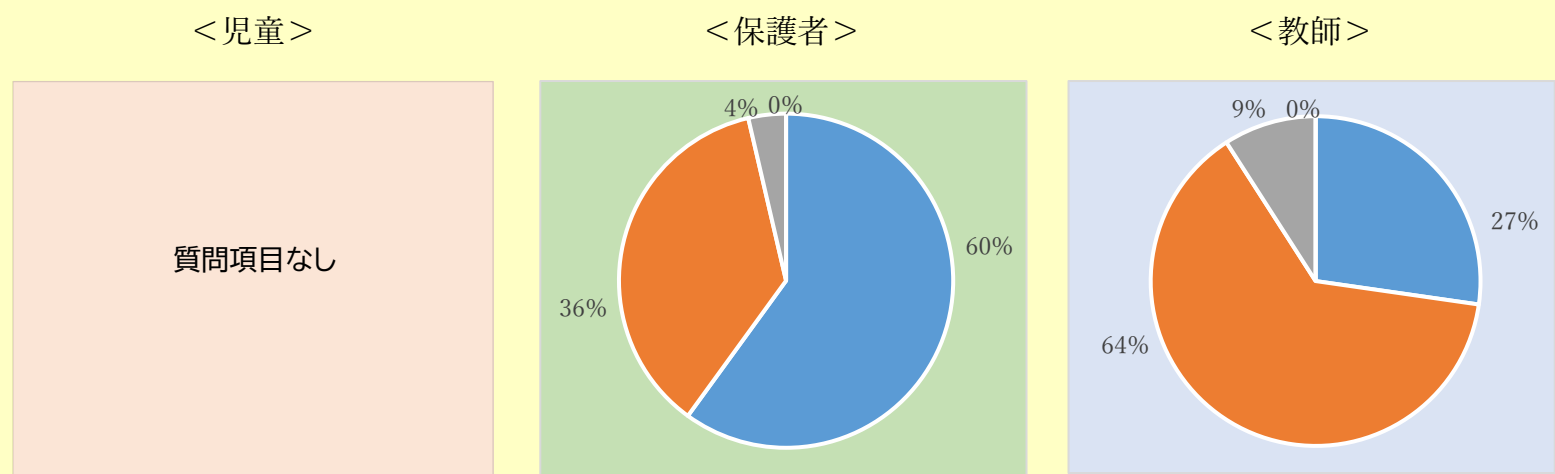
- ・ 児童は、「よくあてはまる」が 96%と、非常に高い肯定率となっている。
- ・ 保護者は、学校安全への取組を全体的に評価していただいていることが分かる。
- ・ 若干の不安を抱えている保護者の意見も一定数あるため、引き続き安全・安心な学校になるよう努めたい。

◇ 学校は、広報や HP 等で情報を積極的に発信している。(保護者・教師)



- ・ 2者とも肯定的な意見は 90%以上となっている。
- ・ 保護者は、全体的に評価をしているものの、情報発信の頻度等に不満を感じている方が一定数いる。
- ・ 教師は、「よくできている」が 10%未満であり、改善の余地があると感じていることが分かる。
- ・ 限られた時間の中で、有効に働く情報発信の仕方を模索する必要がある。

◇ 学校は、保護者や地域との協力体制がとれている。(保護者・教師)



- ・ 保護者は、全体的に評価をしているものの、協力体制に不満・不安を感じている方が一定数いる。
- ・ 協力体制に課題を感じている教師が、一定数いることが分かる。
- ・ 学校・家庭・地域連携の在り方について、学校運営協議会をはじめ、様々な機会を生かして協議したり情報発信したりする。

＜自由記述＞ ～保護者の方より～

- ・ 2 学期もどうぞよろしくお願いします。
→ 前期(1学期)の反省や課題を踏まえ、後期も松蔭小学校教育に邁進したいと思います。こちらこそ、どうぞよろしくお願いいたします。
- ・ 教員不足な現状には十分に理解できますが、音楽や図工といった感性を磨く授業は、是非とも専門の先生に教えていただきたいです。今年度は音楽専科がなく、とても残念です。
→ 実際に教員の数が足りていないのが現状です。限られた人数の中での教員配置となっていることに、ご理解とご協力をお願いいたします。また、授業研修や教師間での情報共有にも努めていきたいと思います。

貴重なご意見をありがとうございました。